

月心会 関東大会型試合規定

[学年別]

「学年」	「予選」	「決勝トーナメント(ベスト8)」
幼児	基本2. 7. 9本 各4本(基本1. 2. 3でも可)	自由型(普及型Ⅱを除く)
小学生	少林竜の型 (基本2. 7. 9でも可)	自由型(普及型Ⅱを除く)
中学・高校・一般以上	アーナクウ (少林竜の型でも可)	自由型(普及型Ⅱを除く)

[級別]

「クラス」	「予選」	「決勝トーナメント(ベスト8)」
(幼児～中学)		
10級	基本1～3本 各4本	同 左
9級	基本2, 7, 9本 各4本	〃
8級	前後式1～3本 各3本	〃
7級	少林竜の型	同左 指定型
6級	アーナクウ	〃
5級	一の型	〃
4級	ワンスウ	〃
3級	普及型Ⅱ	〃
2級	セイサン	〃
1級	チントウ	〃
少年少女初段(当日初段取得者)	五十四歩	〃
少年少女段の部	アーナクウ (少林竜の型でも可)	自由型
高校・一般以上の級の部	アーナクウ (少林竜の型でも可)	自由型(但し、五十四歩まで)
高校・一般以上の段の部(当日初段取得者※)	アーナクウ (少林竜の型でも可)	自由型(但し、五十四歩まで)
高校・一般以上の段の部	アーナクウ (少林竜の型でも可)	自由型

※当日初段受験者とは、初めて黒帯を取得するもので、少年少女段からの一般段取得者を除く。

[共通事項]

1. 「自由型」を選ぶ場合、級の人と今大会で初段取得者は五十四歩までとし、有段者はバツサイ、ワンチンを含む型まで指定出来る。
2. 高校・一般以上のクラス分けについて
 - 1) 当日の年齢別に下記のクラス分けを行う。
 - ①39歳以下:「高校・一般の部」、②40～49歳:「壮年の部」、③50歳以上:「シニアの部」
 - 2) 上記の3クラスをさらに級段別、男女別のクラスに分ける。
 - 3) 原則8名未満のクラスは、他のクラスと統合して試合を行う。
3. 高校・一般以上の当日初段取得者は、段のクラスへの出場となるが、自由型は五十四歩までとする。

[追記事項]

「親子型」について

1. 出場条件「親子型」
 - 1) 「親子」(親1人と子1人の計2人) 親2人と子2人の場合は2組出場できる。
 - 2) 段位は4段まで
2. 区分および型「親子型」
 - 1) 親子共に級もしくはいずれか1名が級:「親子型級の部」への出場とし、ベスト8選出までは「少林竜の型」、ベスト8より「自由型」(但し五十四歩まで)とする。
 - 2) 親子共に初段以上:「親子型段の部」への出場とし、ベスト8選出まで「アーナクウ」、ベスト8より「自由型」とする。

「少年少女段型試合」について

1. 少年少女段型試合に上級、中級、初級、初段のクラスを設ける。
2. 少年少女初段のクラスは、当日初段取得者のみのクラスとし、前回大会以前の初段取得者とは別クラスとする。
少年少女初段のクラスは予選、決勝トーナメントともに五十四歩のみで試合を行う。
3. 前回大会以前の初段取得者からまず上級者8名選出し次に中級者8名選出、最後に初級者8名の24名を選ぶ。
但し、参加者が30名未満の場合は初級は設定しない。
4. 前回大会以前の初段取得者は段の型もしくは五十四歩までの型で演武することができる。
予選は全て指定型アーナクウとする。
但し、アーナクウのみでベスト8を決めるのが難しい場合は主審の判断で五十四歩までの技をその場で指定型として決めることが出来る。

型試合決勝 再試合取扱い

1. 型試合決勝において副審の旗が同数の場合、原則違う型で再試合をさせる。
2. 少年少女級別の決勝で再試合の場合は、各級別指定型より下位の型のみ演武可とする。
3. 下位技が基本しか無い、10級、9級、8級、7級までの試合は、再試合はせず主審の判定により勝負を決すること。

※改定:2019年08月3日

以上